

笛吹市教育委員会会議録

次第

- (1) 開会
- (2) 教育長挨拶
- (3) 前回議事録の承認及び今回議事録署名委員の指名
(6月議事録署名委員 加賀美職務代理者、押山委員)
- (4) 教育長報告
- (5) 各課報告、連絡事項
- (6) 議事
報告第1号 令和8年笛吹市議会第2回定例会提出議案について
議案第7号 令和9年度県教育施策及び予算に関する要望書について
議案第8号 笛吹市いじめ問題専門委員会の委員について
議案第9号 笛吹市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第10号 笛吹市無形民俗文化財継承支援事業費補助金交付要綱の制定について
- (7) その他
- (8) 閉会

1 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

会議名 令和8年度6月定例会
開催日 令和8年6月8日
開会時間 午後2時
閉会時間 午後3時20分
開催場所 笛吹市役所市民窓口館 302・303 会議室

2 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員

教育長 望月 栄一
教育長職務代理者 加賀美 公人
教育委員 三井 久美子、古屋 修二、押山 栄子

欠席委員

教育委員 鎮目 由美子

3 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

出席者

教育部長 手塚 克巳

教育総務課長 吉田 孝至

学校教育課長 角田 能一

学校教育課教育監 黒澤 宏至

学校教育課指導主事 橋田 昌樹、三枝 寛康

生涯学習課長 早河 明

文化財課長 角田 幸侑治

図書館長 松本 京子

教育総務課総務担当 主幹 白倉 美智子、主査 高野 麻里子

4 他部署から出席した長及び事務部局の職員の職氏名

出席者 なし

5 教育長等の報告の要旨

教育長 5月18日から6月8日までの事業報告

教育総務課 5月18日から6月8日までの事業報告

6月12日から7月3日までの予定行事報告

学校教育課 5月18日から6月8日までの事業報告

6月10日から7月1日までの予定行事報告

生涯学習課 5月16日から6月3日までの事業報告

6月10日から6月25日までの予定行事報告

文化財課 5月26日の事業報告

図書館 5月21日から6月3日までの事業報告

6月12日から7月1日までの予定行事報告

6 会議に付した議案

報告第1号 令和8年笛吹市議会第2回定例会提出議案について

議案第7号 令和9年度県教育施策及び予算に関する要望書について

議案第8号 笛吹市いじめ問題専門委員会の委員について

議案第9号 笛吹市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第10号 笛吹市無形民俗文化財継承支援事業費補助金交付要綱の制定について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 議事の概要

報告第1号 (教育部長) 資料に基づき説明

質疑なし

議案第7号 (教育総務課長・学校教育課長・学校教育課教育監・生涯学習課長) 資料に基づき説明

(職務代理者)

それぞれ説明のあった内容は、是非要望として挙げてもらいたい。

また、本来義務教育に係る予算については、教育の機会均等の観点から、全額国の負担であるべきと考える。自治体の体力差で教育の質が変わることがあってはならないことを強く要望として挙げてほしい。

(教育委員)

学校訪問をした際に、ICT・英語教育等、きめ細やかな取り組みがされていると感じた。通常学級でも個々の対応が必要となる中、特別支援学級での取り組みやいじめ問題、不登校の問題など、様々な出来事が重なっている。これらの状況から、環境整備と人員配置検討の必要性を強く感じた。今回挙げたそれぞれの要望が叶うことを願う。

別件で、部活動の地域展開については、財政的に心配なところがある。

(教育委員)

先ほどの意見と重なるが、部活動の地域展開について、立ち上げに数百万かかるとの話であったが、補助金額との差額はどのように補っているのか。

(生涯学習課長)

現状、国県の補助金以外は市の一般財源で補っているため、補助の拡大を要望していく。また、現在は試行的に市の一般財源で補っているが、今後は受益者負担なども含めて考えていく。

(教育委員)

先日の関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会において、文科省の職員から、「将来的には、平日の部活動も地域展開を」という理想論ともいえる話があった。

どれほど大変な状況であるのか、要望として挙げなければ、国県に伝わらないと感じている。現場を見ながら検討と改善をしなければ、立ち行かなくなるのではと危惧している。

(学校教育課長)

学力向上スタッフについても同様。費用の2/3を国県補助としているが、実際は2千万円必要なところ、8%しか補助されていない。

ICTについても補助基準額が少なく、10%程度に留まっていることから、補助枠の拡大要望を挙げている。

(教育長)

現場の声を文科省に伝えていくことが大事である。財政的な面で言うと、年々補助金額が減額され、市の負担が増えている。

大前提として、義務教育費の国庫補助を1/2に戻してもらうことも含め、要望していく。

議案第8号 (学校教育課長) 資料に基づき説明
質疑なし

議案第9号 (生涯学習課長) 資料に基づき説明
質疑なし

議案第10号 (文化財課長) 資料に基づき説明
(職務代理者)

八代の三番叟について、継承に向けて子どもたちにも伝えたいとの想いで活動している。他団体も含め、この補助金が文化財の保存に繋がっていくと良いと思う。

(教育委員)

岡神社についても、継承のため、指導者が子どもに日々教えている状況。後世に伝えていけるよう、補助金を活用してもらいたい。

9 議決事項

報告第1号 了知

議案第7号 承認

議案第8号 承認

議案第9号 承認

議案第10号 承認

10 教育長が必要と認める事項(議事資料)

なし

議事録署名

笛吹市教育委員会 教 育 長 望月 栄一
教育委員 加賀 美公人
教育委員 押山 栄子
作成職員 高野 麻里子